

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	児童支援事業所すまいりー			
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 13日 ～ 令和8年 2月 3日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	7名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 13日 ～ 令和8年 1月 16日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 6日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との情報共有	・公式LINEや連絡帳を活用し、保護者からの相談事に対応している。 ・保護者からの相談については、適切な助言ができるよう職員間で情報を共有し、迅速に対応するよう心がけている。 ・連絡帳には支援の内容や子どもの様子を詳しく、わかりやすく記載するようにしている。	・専門的な助言ができるよう、研修等に参加し知識を身につけたい。 ・ミーティングや内部研修等で得た知識をアウトプットし、職員全体の質の向上に努めていく。
2	子ども達との密な関り	・一人ひとりの子どもとじっくり向き合い、特性や発達段階等に応じた支援を心がけている。 ・アットホームな雰囲気の中、子ども達が安心して楽しく過ごせるような環境作りを行っている。 ・さまざまな経験ができるよう、地域・季節に応じた活動内容を計画に取り入れている。	・特性に応じた支援のためには、知識と経験が必要不可欠である。そのため、今後は知識を深めるための外部研修にも積極的に参加したい。 ・子ども達が安心して楽しく過ごせるよう、支援内容だけでなく、環境整備にもより配慮が必要と考えている。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	特性理解や発達段階の理解を深めたい	利用しているお子さんの特性や発達の状況がそれぞれ違うため、さまざまなことに留意しながら理解を深めなければならない。	・知識を深めるための研修参加（内部研修はもちろん、外部研修への参加も検討） ・職員間での共通理解のため、ミーティングやケース会議等での意見交換は引き続き行う。 ・わからないことはそのままにせず、児発管に相談しアドバイスを受ける。
2			
3			